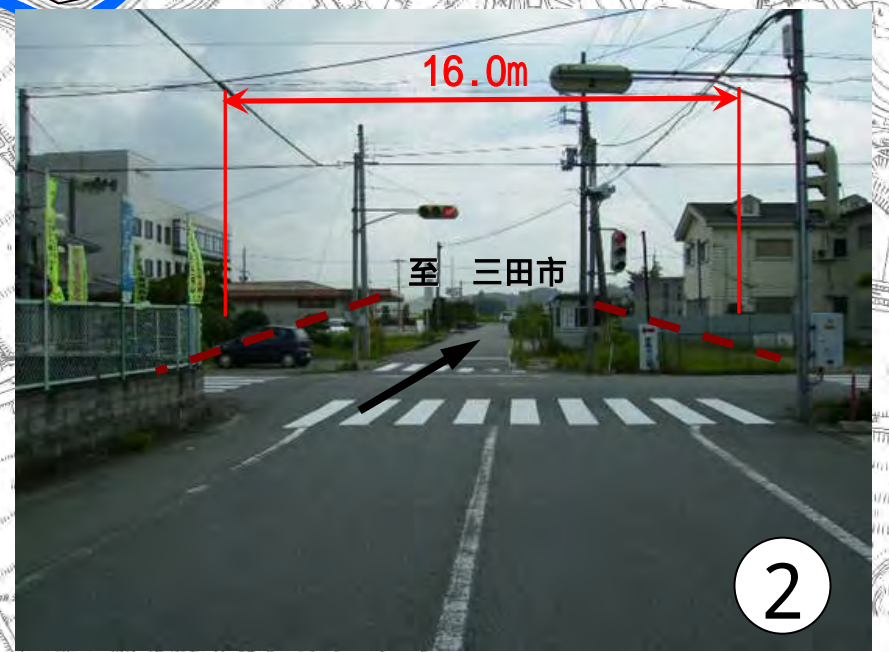
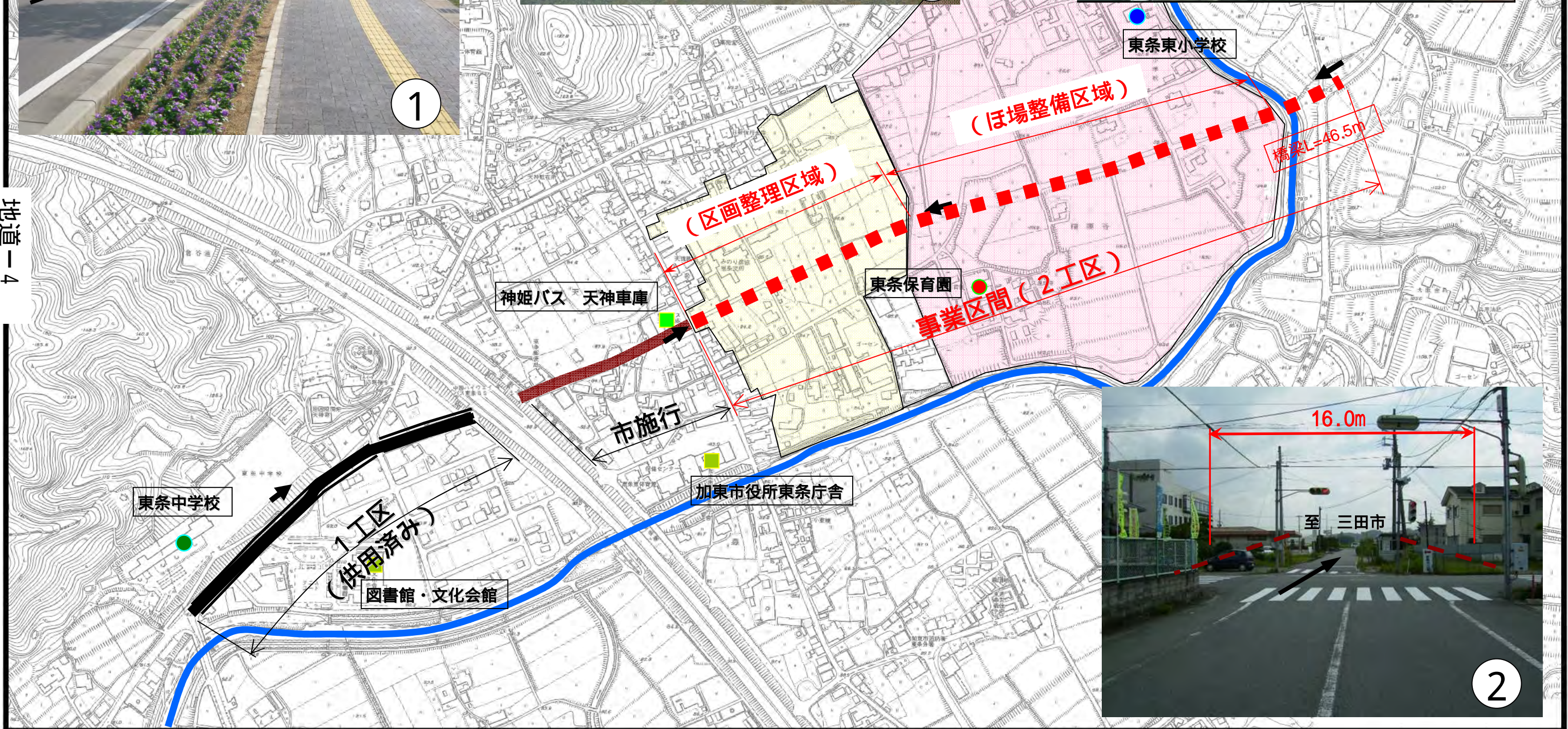


進捗状況



地道一4



現道状況



現道は大型車のすれ違いが困難であるなど幅員が狭小で、歩道が未整備であるなど交通安全上の課題を有している。



1

小野藍本線 (現道)

東条東小学校

東条川

神姫バス 天神車庫

東条保育園

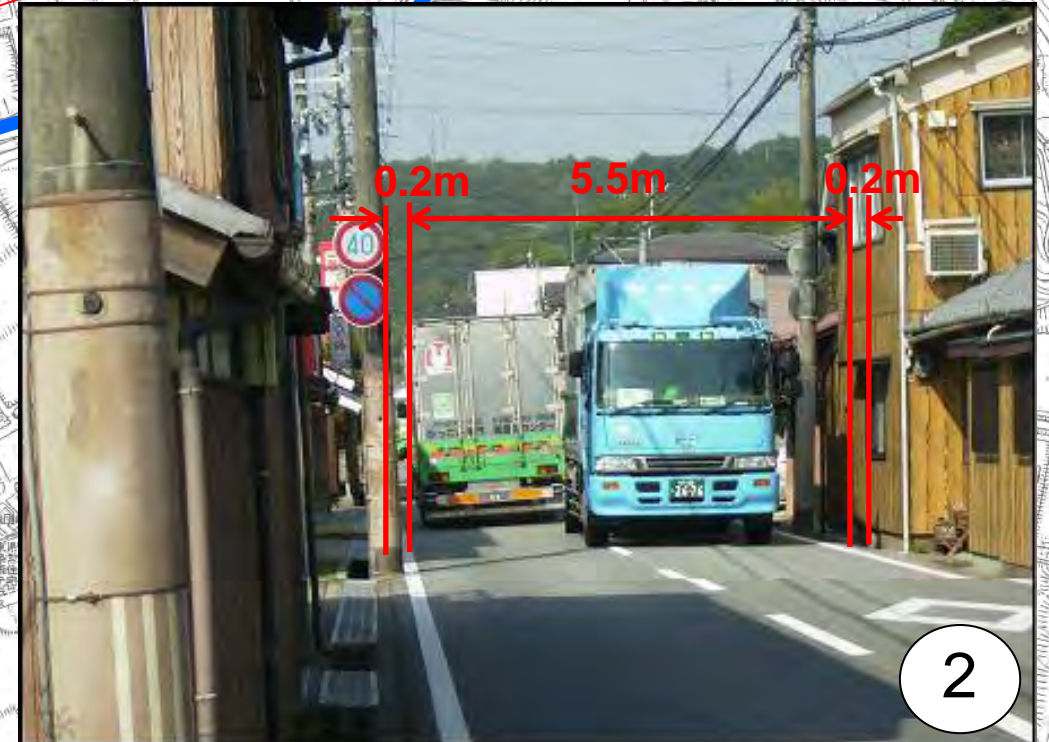
事業区間 (2工区)

市施行

加東市役所東条庁舎

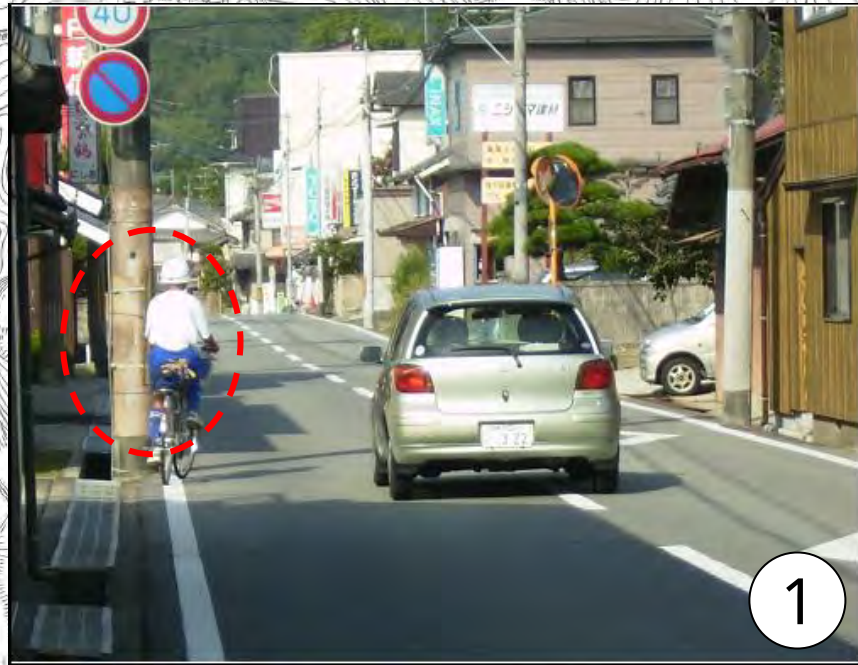
会館

3



2

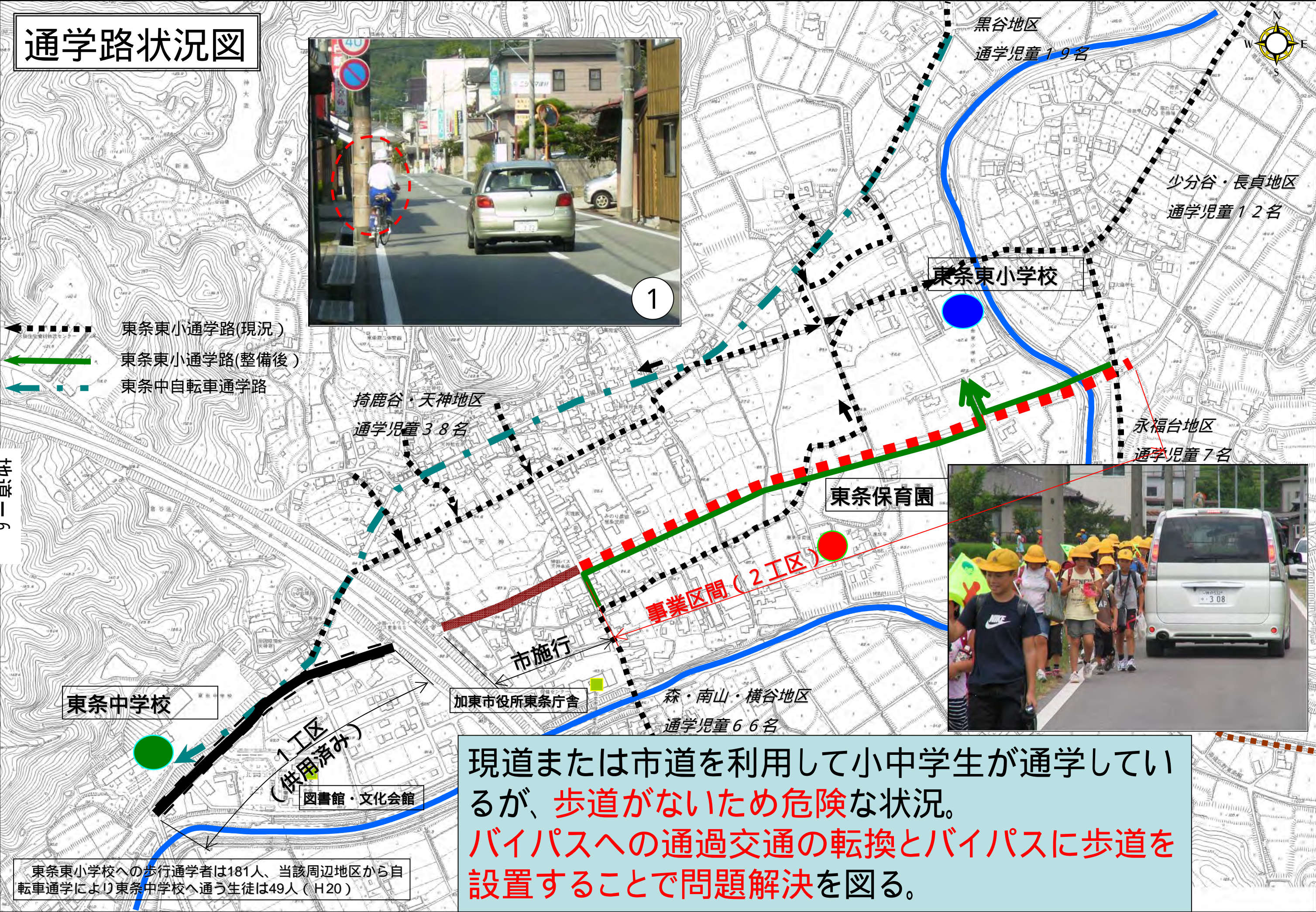
通学路状況図



1

- 東条東小通学路(現況)
- 東条東小通学路(整備後)
- 東条中自転車通学路

地道-6



東条東小学校への歩行通学者は181人、当該周辺地区から自転車通学により東条中学校へ通う生徒は49人 (H20)

現道または市道を利用して小中学生が通学しているが、**歩道がないため危険な状況。**
バイパスへの通過交通の転換とバイパスに歩道を設置することで問題解決を図る。

交通事故発生状況

歩道未整備区間

1件
(単1)

3件
(追1,接1,他1)

3件
(追1,出会1,接1)

3件
(追1,他2)

人身事故件数 (H16 ~ H20)
(社警察署調べ)

平成16年	4件
平成17年	2件
平成18年	0件
平成19年	2件
平成20年	2件

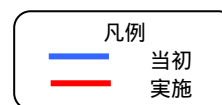
本事業区間の死傷事故率は100.9件/億台・kmと県平均約100件/億台・kmとほぼ同数であるが、歩道未整備区間に発生しており、歩道整備も含め早急な対策が求められている！

地道一7



継続事業
当初計画及び実施工程

年度		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
第1工区 (天神西地区)	調査設計	[当初]		[実施]										
	用地補償		[当初]		[実施]									
	道路改良工事			[当初]		[実施]								
第2工区 (天神～ 長貞地区)	調査設計					[当初]		[実施]						
	用地補償						[当初]		[実施]					
	道路改良工事						[当初]				[実施]			
	橋梁工事							[当初]				[実施]		



B/C 根拠説明資料例
便益 (B) の項目

事業	B (便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用： (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365 日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： (交通量 × 距離) × 走行経費価値原単位 × 365 日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額： [(交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位) + 交通量 × 主要交差点 × 交差点部事故損失原単位]

費用便益比 (B / C) 算出根拠

事業	事業名	B (便益)		C (費用)			B/C	
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)		
道路	主要地方道 小野藍本線	全体 事業費	走行時間短縮便益	3,870	1,420	1,310	110	3.4
			走行経費減少便益	750				
			交通事故減少便益	190				
			計	4,810				
	残 事業費	走行時間短縮便益	3,510	360	290	70	12.4	
		走行経費減少便益	760					
		交通事故減少便益	200					
計	4,470							